

福岡市経済の概況

令和 7 年 9 月
福岡市経済観光文化局

はじめに

「福岡市経済の概況」は、福岡市の経済・産業の動向を把握するため、公的機関や民間調査機関が実施している統計調査等のデータを収集し、とりまとめたものです。

目次

	ページ
1 景気の動向	
（１）全国の景気	2
（２）九州・沖縄の景気	2
（３）福岡県の景気	3
（４）福岡市の景気	4
2 福岡市の経済構造	
（１）市内総生産	6
（２）事業所数・従業者数	8
3 各種統計資料	
（１）雇用動向	12
（２）開業率・廃業率	14
（３）オフィス空室率	14
（４）福岡市商工金融資金	15
（５）企業倒産	15
（６）貿易	16
（７）入込観光客数	17
（８）観光消費額	17
（９）外国人入国者数	18
（１０）クルーズ船寄港回数	19
（１１）国際会議開催件数	19

1 景気の動向

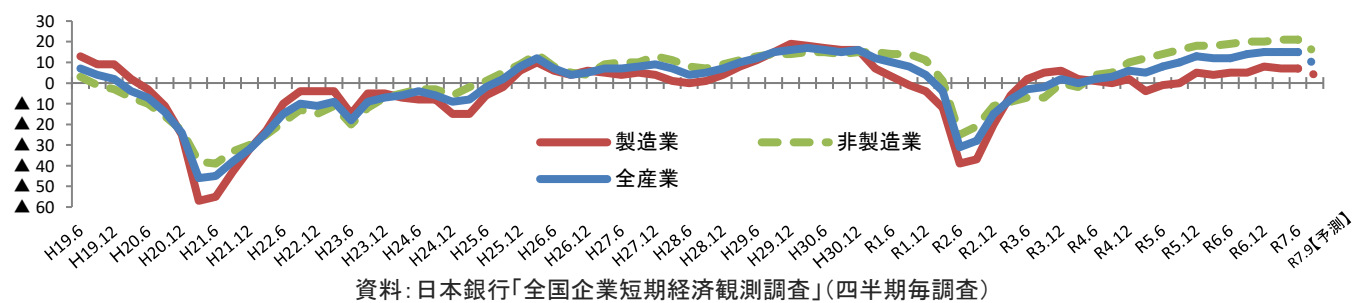
(1) 全国の景気

内閣府「月例経済報告」 [令和7年8月]

(我が国経済の基調判断)
景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。

- 業況判断指数 (DI) (令和7年6月調査) 【図1】
 - ・ 全産業 : 15 (前期±0ポイント)
 - ・ 製造業 : 7 (前期±0ポイント)
 - ・ 非製造業 : 21 (前期±0ポイント)
- 3か月後の先行き見通し
 - ・ 全産業 : 9 (今期-6ポイント)
 - ・ 製造業 : 4 (今期-3ポイント)
 - ・ 非製造業 : 15 (今期-6ポイント)

図1 全国の企業の業況判断指数 (DI) の推移



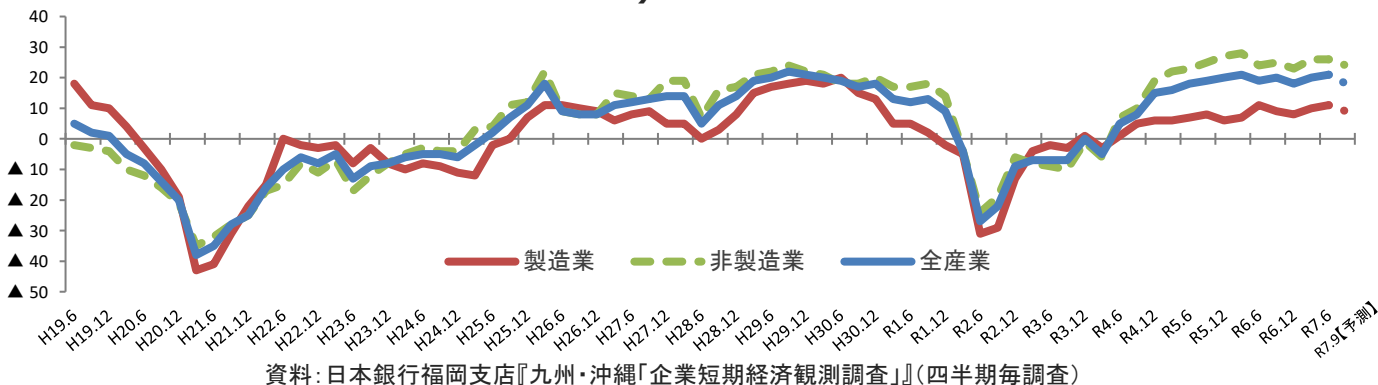
(2) 九州・沖縄の景気

日本銀行福岡支店「九州・沖縄の金融経済概況」 [令和7年9月]

■ 九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

- 業況判断指数 (DI) (令和7年6月調査) 【図2】
 - ・ 全産業 : 21 (前期+1ポイント)
 - ・ 製造業 : 11 (前期+1ポイント)
 - ・ 非製造業 : 26 (前期±0ポイント)
- 3か月後の先行き見通し
 - ・ 全産業 : 18 (今期-3ポイント)
 - ・ 製造業 : 9 (今期-2ポイント)
 - ・ 非製造業 : 24 (今期-2ポイント)

図2 九州・沖縄の企業の業況判断指数 (DI)の推移



(3) 福岡県の景気

福岡県「県内経済の動向」 [令和7年8月]

■福岡県の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・貿易は、輸出額は前年同月を上回っている一方、輸入額は前年同月を下回っている。
- ・令和7年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。
- ・企業の業況判断は、横ばいとなっている。
- ・倒産件数は、増加している。
- ・消費は、物価上昇の影響等により、消費者マインドに弱さがみられるものの、緩やかに回復している。
- ・雇用情勢は、全体として持ち直している。

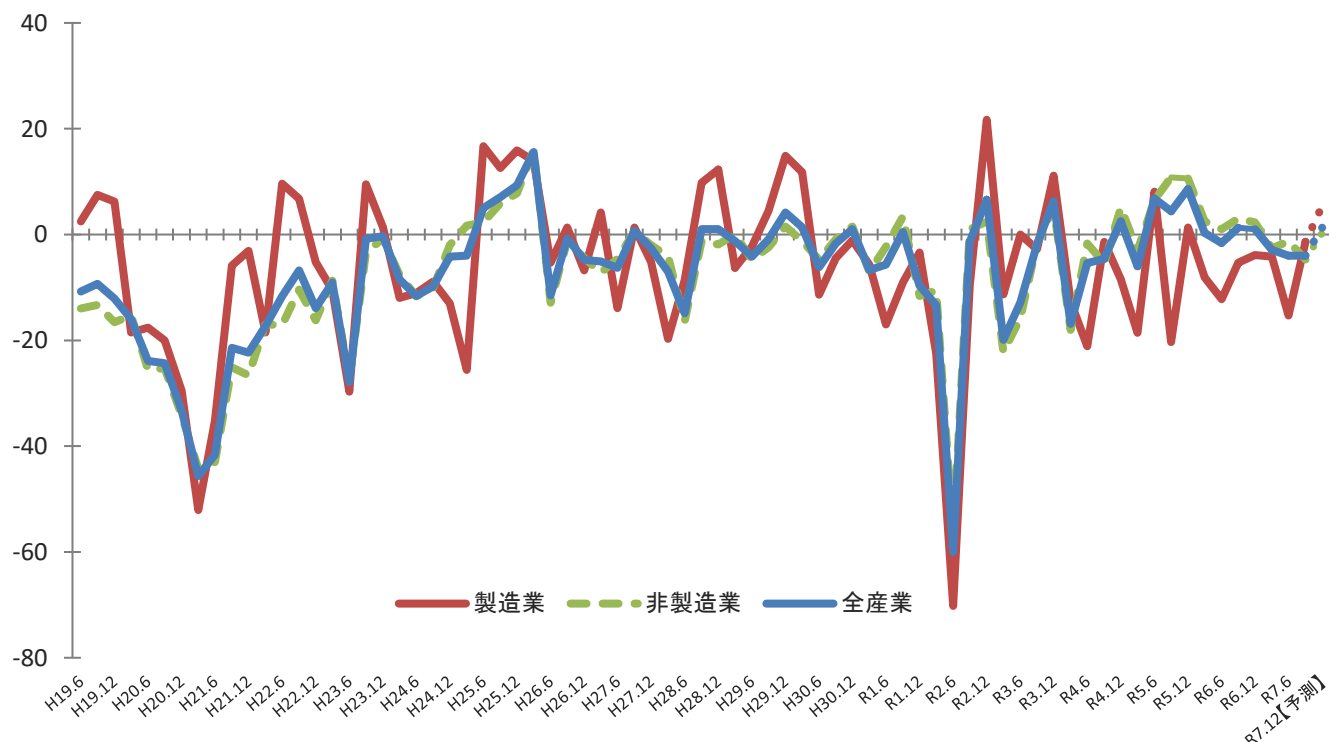
■景況判断（BSI）（令和7年9月調査） 【図3】

- ・全産業：▲4.0（前期±0ポイント）
- ・製造業：▲1.4（前期+13.9ポイント）
- ・非製造業：▲4.7（前期-3.4ポイント）

■3か月後の先行き見通し

- ・全産業：1.3（今期+5.3ポイント）
- ・製造業：5.4（今期+6.8ポイント）
- ・非製造業：0.3（今期+5.0ポイント）

図3 福岡県の企業の景況判断指数（BSI）の推移



資料：財務省福岡財務支局「法人企業景気予測調査」（四半期毎調査）

(4) 福岡市の景気

福岡商工会議所「地場企業の経営動向調査」[令和7年7月]

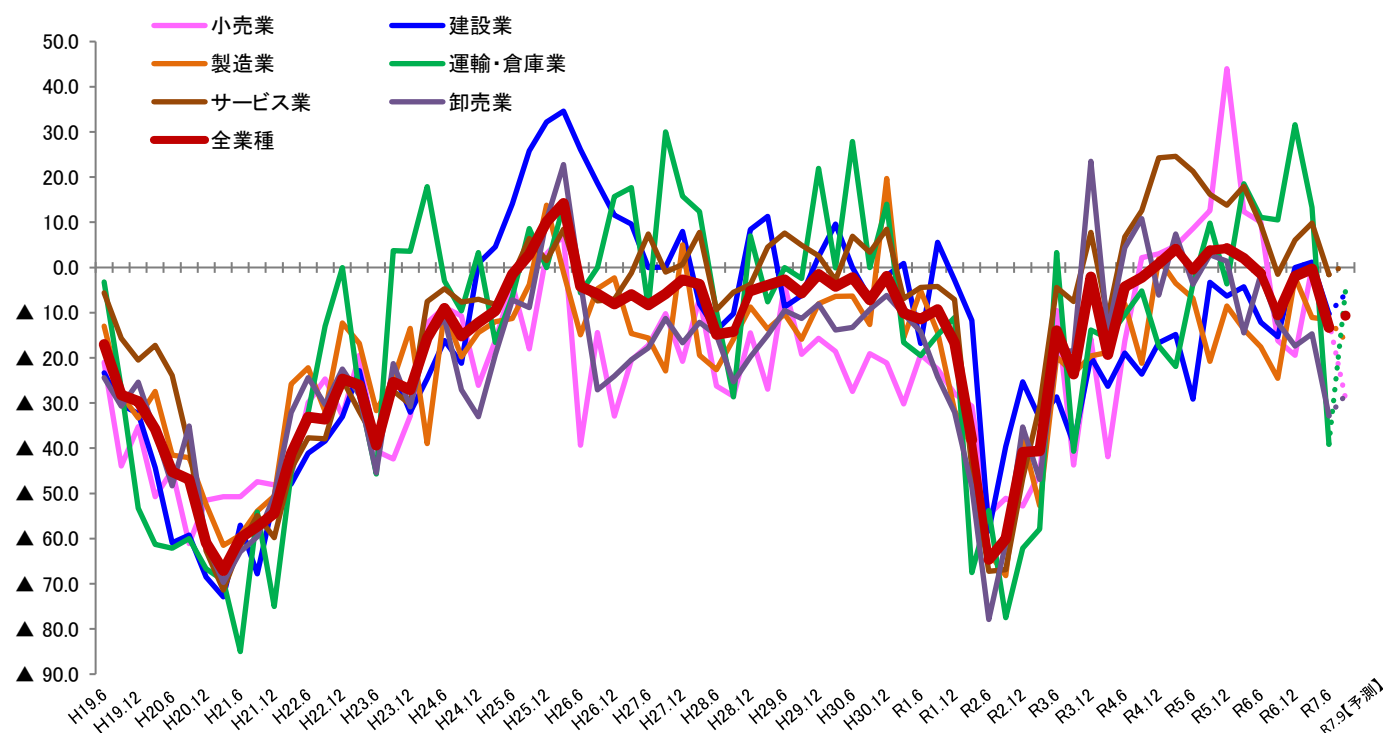
■地場企業の景況判断指数（DI値）（令和7年6月調査） 【図4】

・全業種平均：▲13.3 （前期比－13.0ポイント）

■次期予測

・全業種平均：▲10.6 （今期比＋2.7ポイント）

図4 地場企業の景況判断指数（DI値）の推移（業種別）



市内事業者の意見

【事業者の現況】※福岡商工会議所「地場企業の経営動向調査」（令和7年度第1四半期）

○業況は、売上減少や収益悪化により引き続き厳しい状況

○人材確保のための待遇改善を積極的に進めようとする意識は高いものの、コスト面での制約から十分な対応が難しい状況

【事業者の現況】※福岡市中小企業振興審議会委員の意見

○価格転嫁に取り組む企業は増えているが、増加するコストに価格転嫁が追いついていない状況

○発注側の価格転嫁の意識が徐々に高まっているとの声も聞かれる一方で、価格に転嫁しすぎると顧客離れが加速する可能性もあり、慎重な動きも見られる

2 福岡市の経済構造

(1) 市内総生産

■市内総生産 【図5】

・令和3年度 名目値：7兆8,277億円（前年度比プラス成長）

・令和3年度 実質値：7兆5,065億円（前年度比プラス成長）

■実質経済成長率：プラス2.8% 【図6】

図5 市内総生産の推移

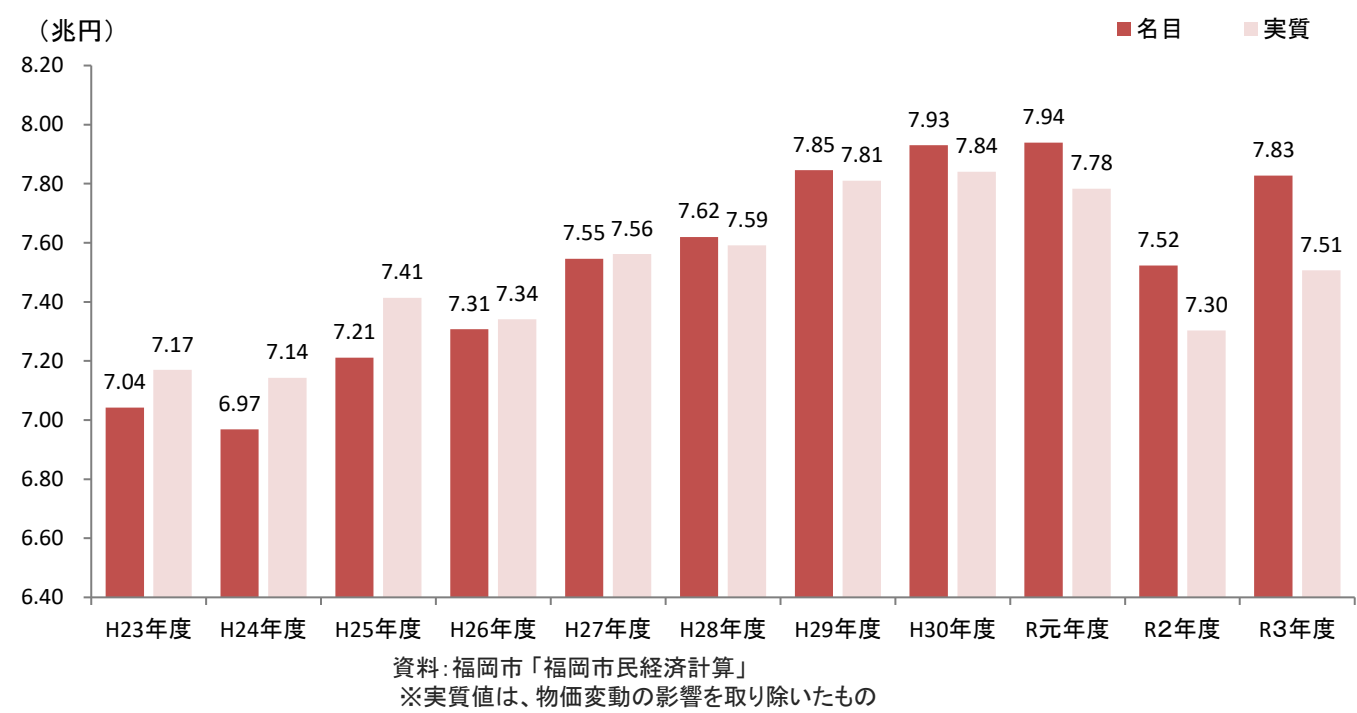
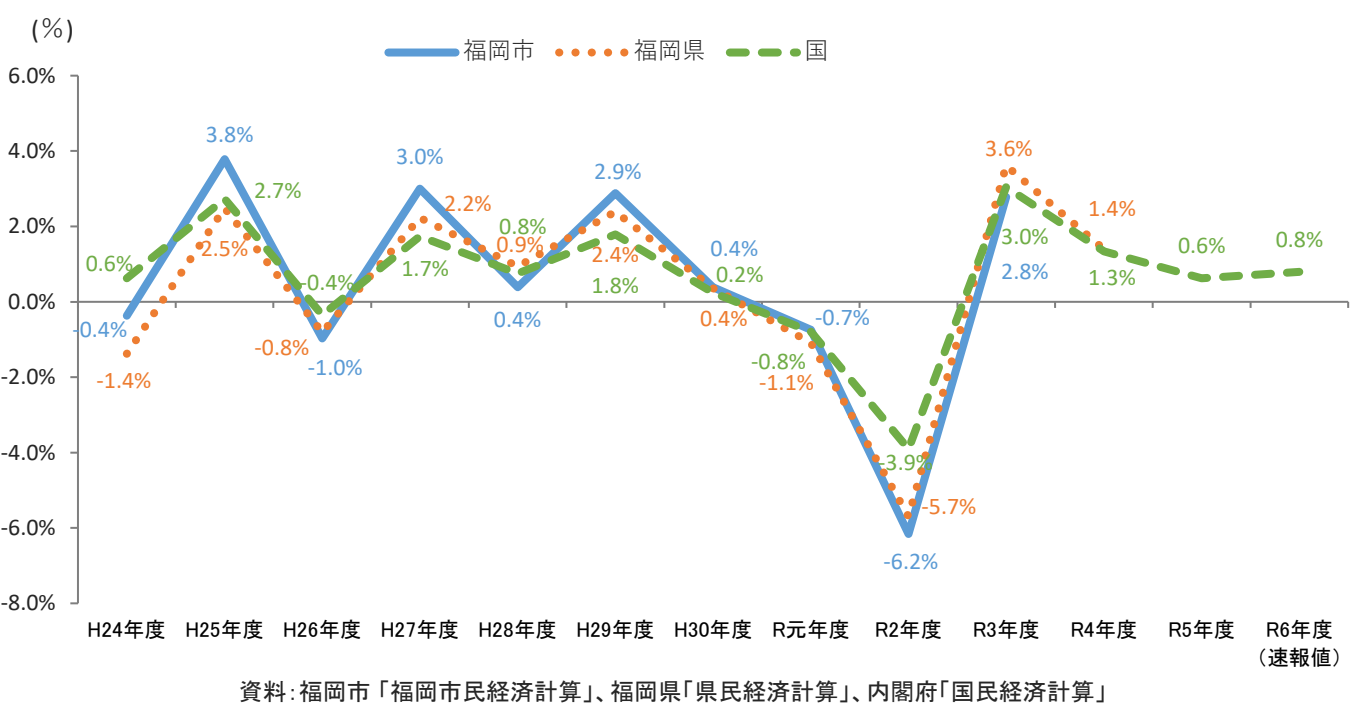


図6 実質経済成長率の推移



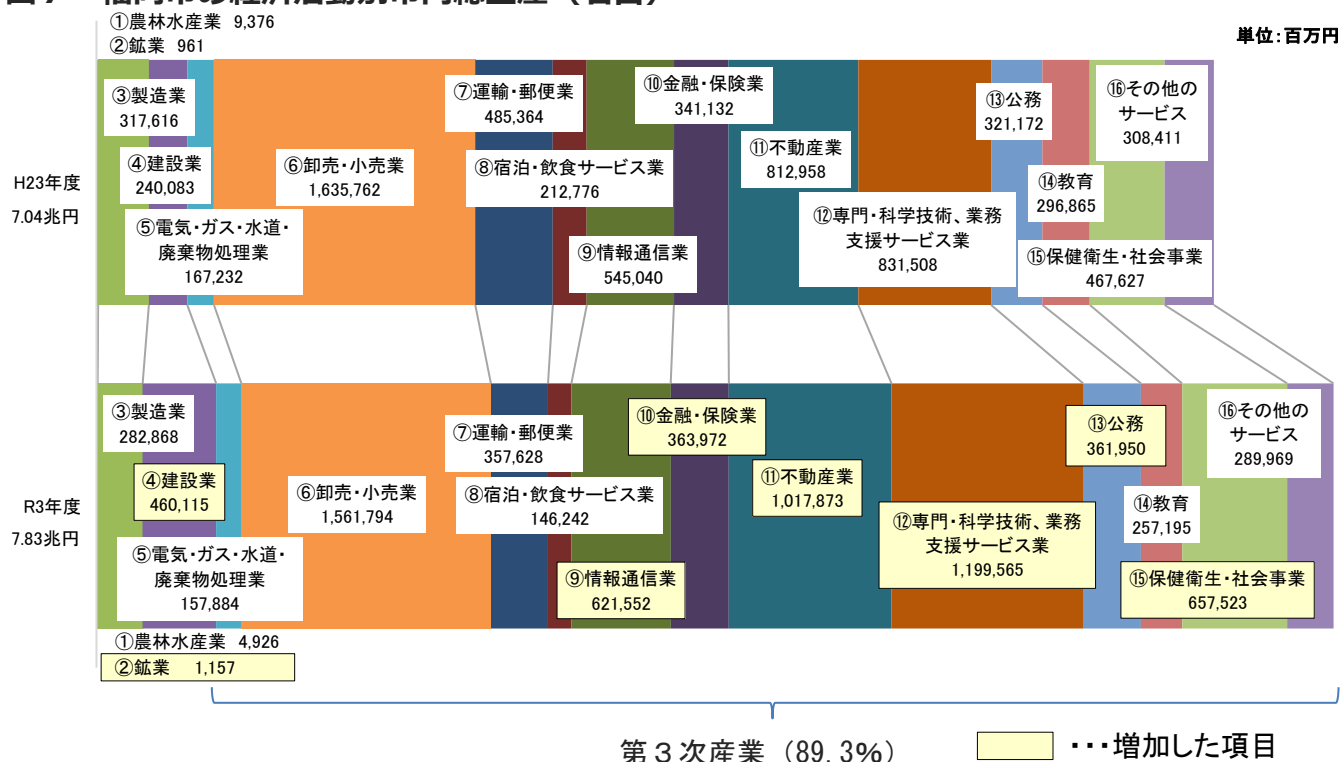
■ 令和3年度 経済活動別市内総生産（名目）【図7】

- ・ 第3次産業が約9割を占める
- ・ 「卸売・小売業」「専門・科学技術、業務支援サービス業」の割合が大きい

■ 平成23年度と令和3年度の比較

- ・ 「専門・科学技術、業務支援サービス業」「建設業」「不動産業」が増加
- ・ 「運輸・郵便業」「卸売・小売業」「宿泊・飲食サービス業」が減少

図7 福岡市の経済活動別市内総生産（名目）

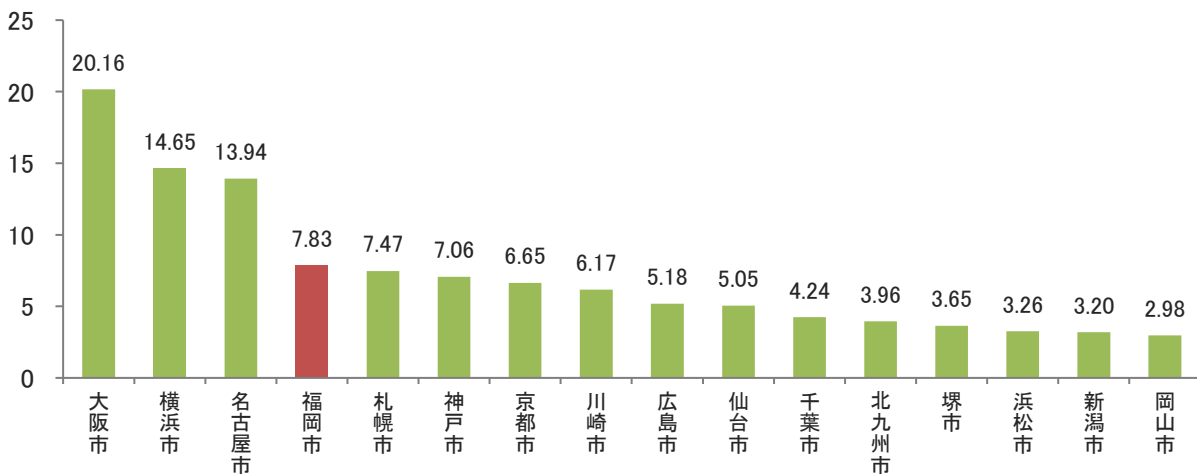


資料：福岡市「福岡市民経済計算」

※輸入品に課される税などは省略

「参考」 市内総生産（名目）の政令指定都市比較 令和3年度

（兆円）



資料：各市「市民経済計算」

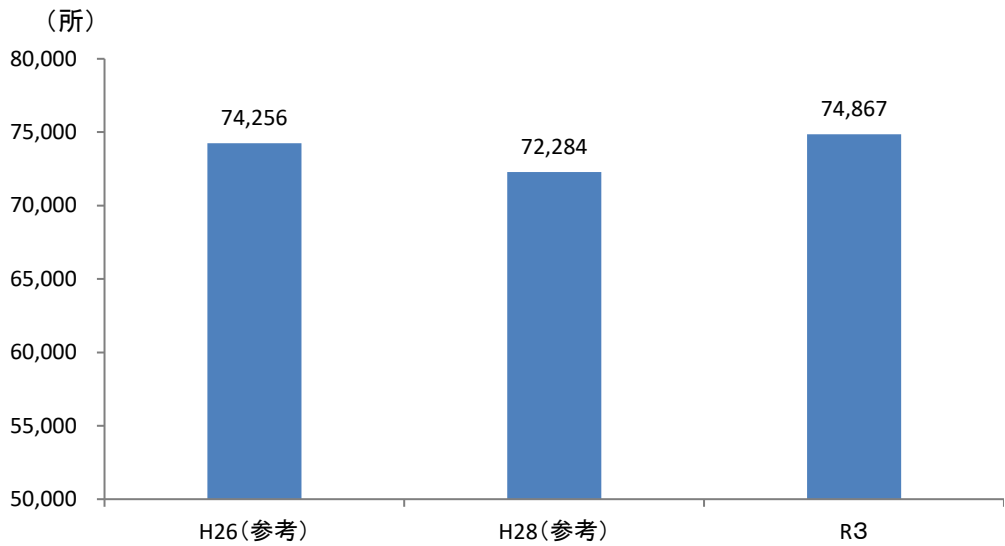
※さいたま市、相模原市、静岡市、熊本市は未集計

(2) 事業所数・従業者数

【事業所数】

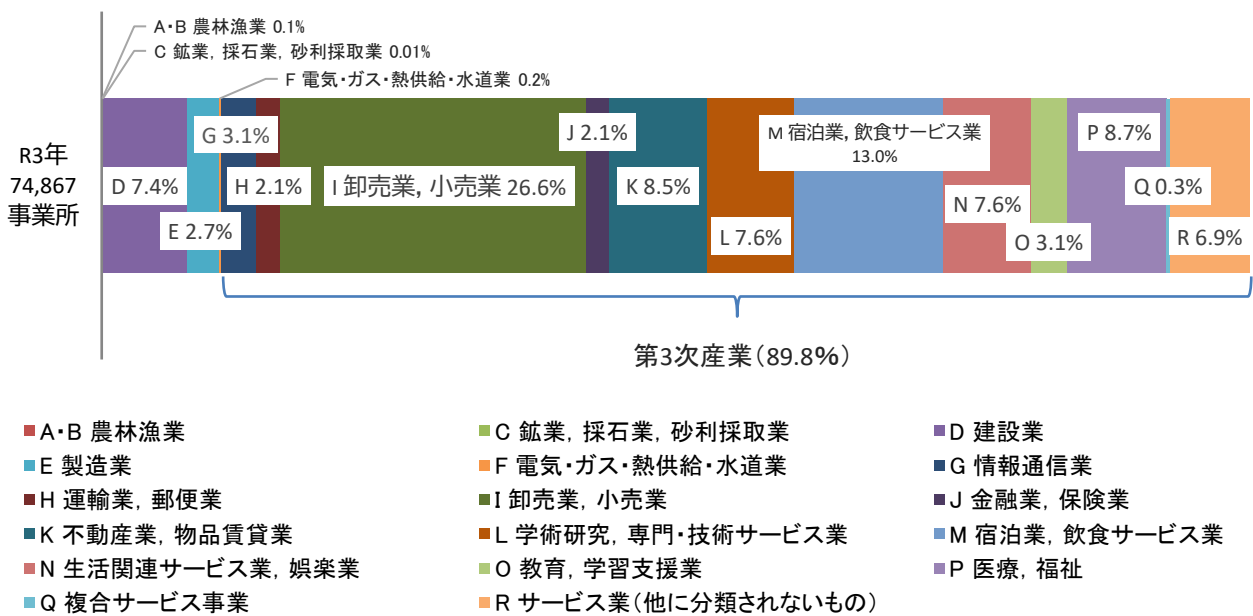
- 令和3年 福岡市の事業所数：74,867事業所 【図8】
- 令和3年 事業所の産業別構成比 【図9】
 - ・ 第3次産業が約9割を占める
 - ・ 「卸売業,小売業」(26.6%) 「宿泊業,飲食サービス業」(13.0%) の割合が大きい

図8 福岡市の事業所数（民営のみ）



資料：総務省「経済センサス-基礎調査」及び総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
※「令和3年経済センサス-活動調査」は、従来から調査方法が変更されており、平成26年及び平成28年の数値は参考値として掲載

図9 福岡市の事業所の産業別構成比（民営のみ）



資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

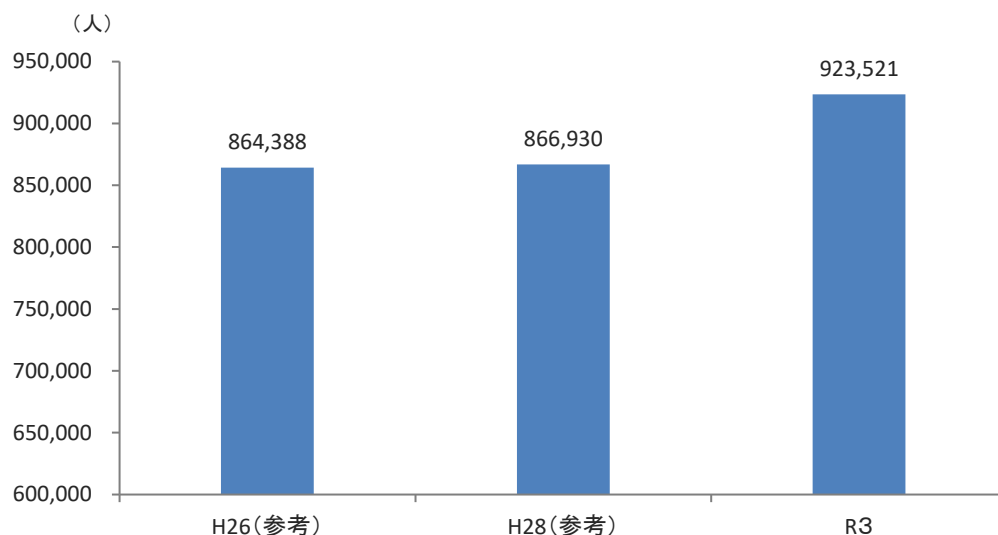
【従業者数】

■令和3年 福岡市の従業者数：923,521人 【図10】

■令和3年 従業者の産業別構成比 【図11】

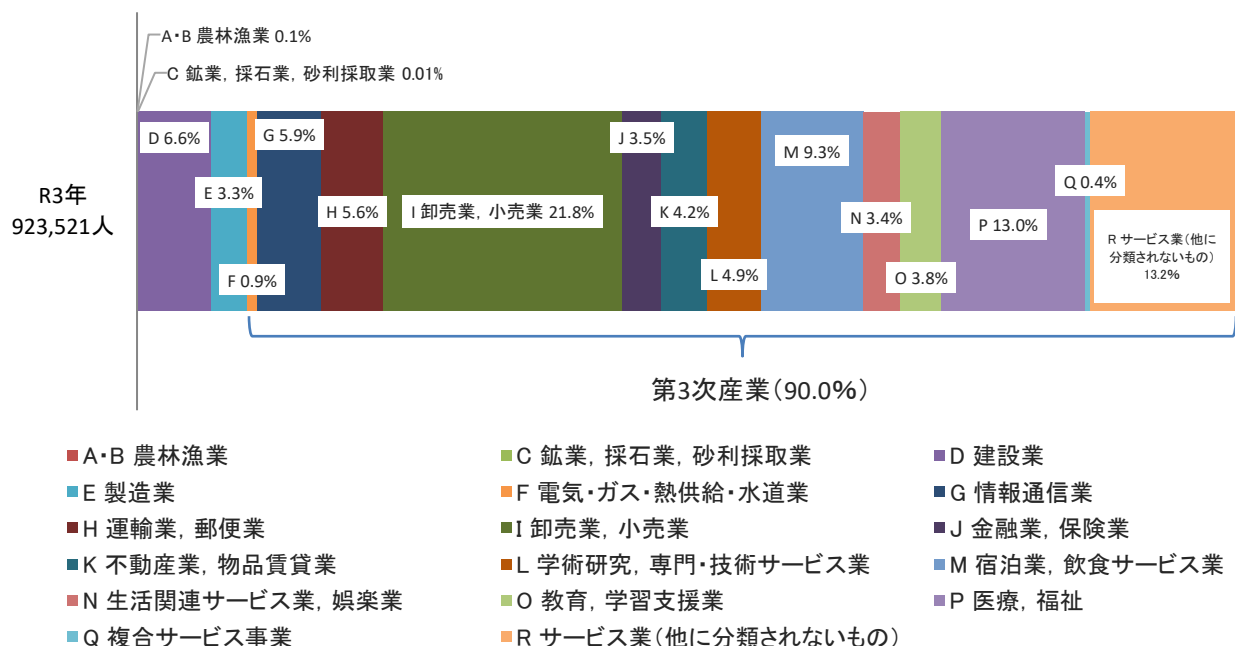
- ・第3次産業が約9割を占める
- ・「卸売業、小売業」（21.8%）「サービス業（他に分類されないもの）」（13.2%）の割合が大きい

図10 福岡市の従業者数（民営のみ）



資料：総務省「経済センサス-基礎調査」及び総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
 ※「令和3年経済センサス-活動調査」は、従来から調査方法が変更されており、
 平成26年及び平成28年の数値は参考値として掲載

図11 福岡市の従業者の産業別構成比（民営のみ）



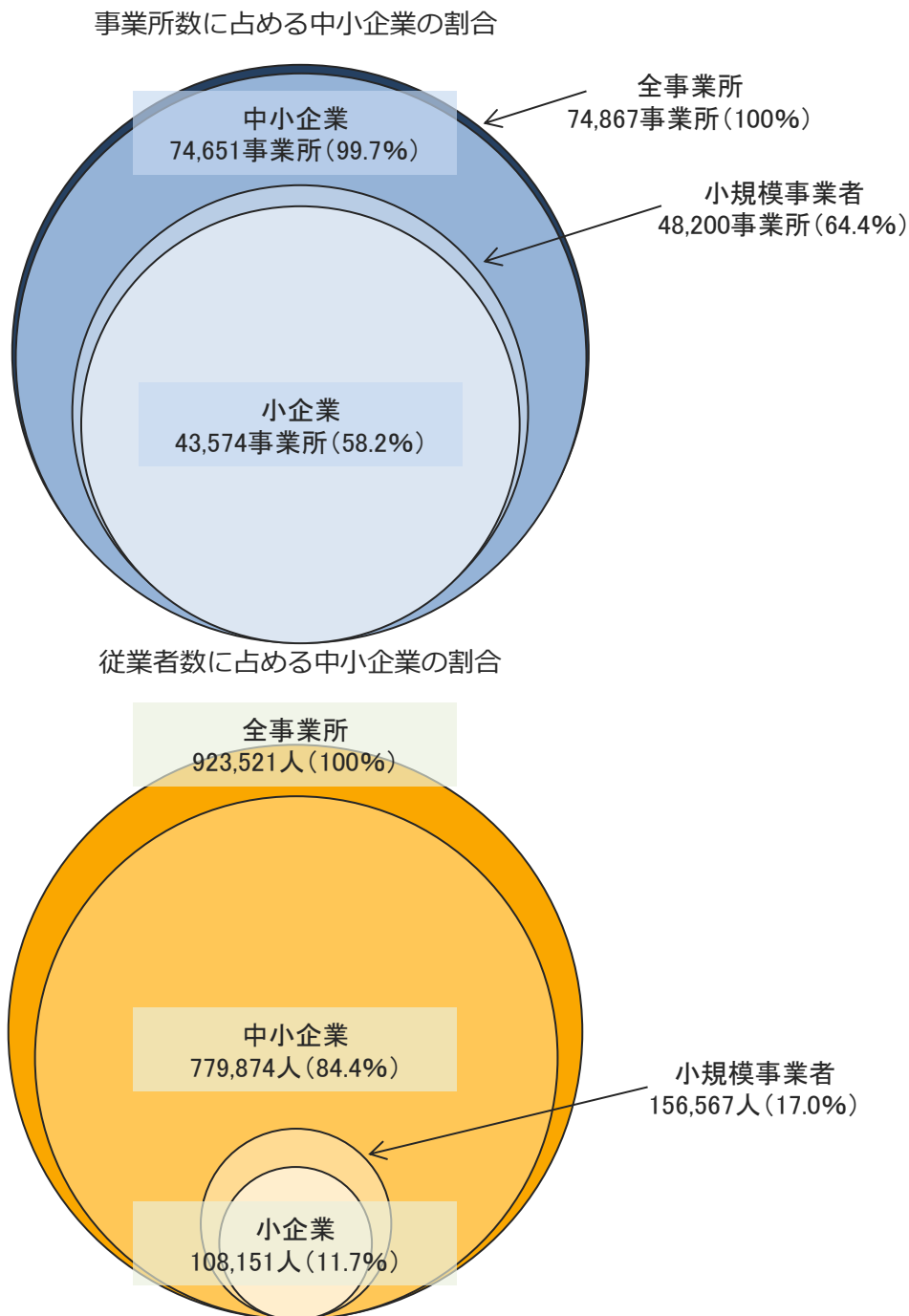
資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

【中小企業の割合】

■ 令和3年 市内事業所に占める中小企業の割合 【図12】

- ・ 事業所数に占める中小企業の割合：99.7%
- ・ 従業者数に占める中小企業の割合：84.4%

図12 福岡市の事業所数及び従業者数に占める中小企業の割合（民営のみ） 令和3年



※統計の性質上、中小企業、小規模事業者、小企業の定義を下記のとおりとした

- ・ 中小企業：従業者規模300人未満
- ・ 小規模事業者：従業者規模20人（商業・サービス業は5人）以下
- ・ 小企業：従業者規模5人以下

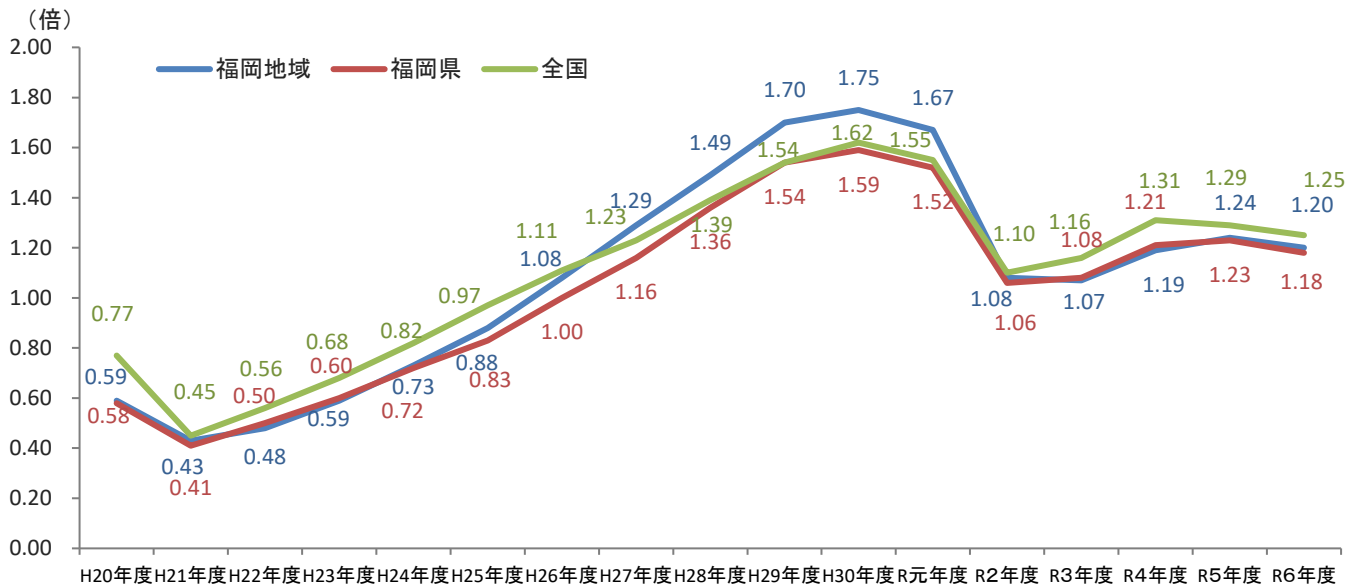
資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

3 各種統計資料

(1) 雇用動向

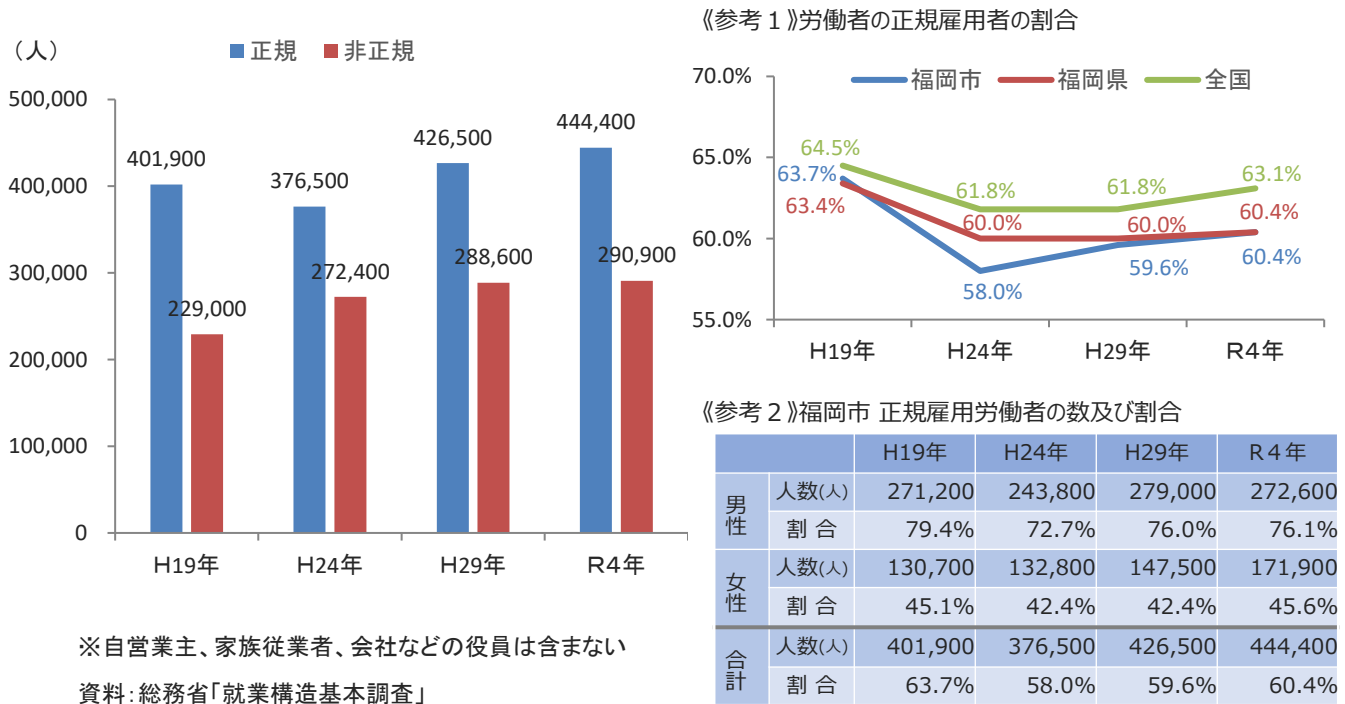
- 福岡地域の有効求人倍率（原数値）【図13】
・令和6年度：1.20倍（前年度－0.04ポイント）
- 福岡市の正規・非正規雇用労働者数【図14】
・令和4年 正規雇用労働者数 444,400人（前回+17,900人）
・令和4年 非正規雇用労働者数 290,900人（前回+2,300人）

図13 有効求人倍率の推移



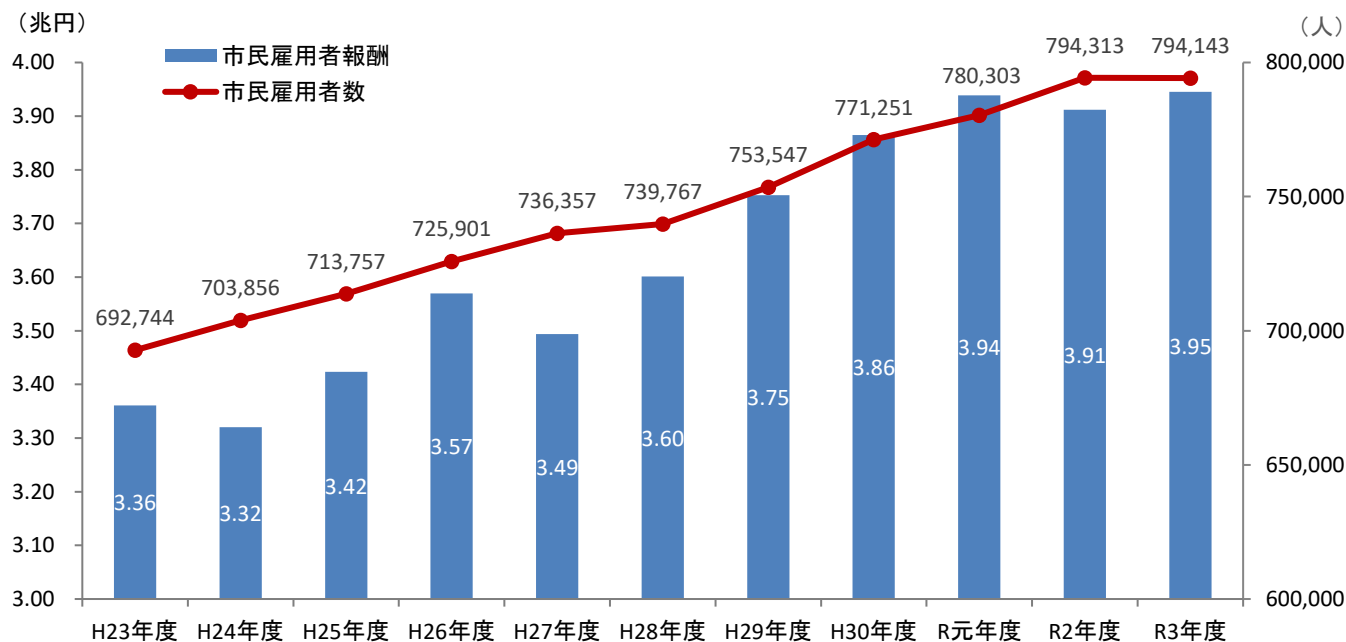
資料：厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」、福岡労働局「雇用失業情勢」

図14 福岡市の正規・非正規雇用別の労働者数の推移



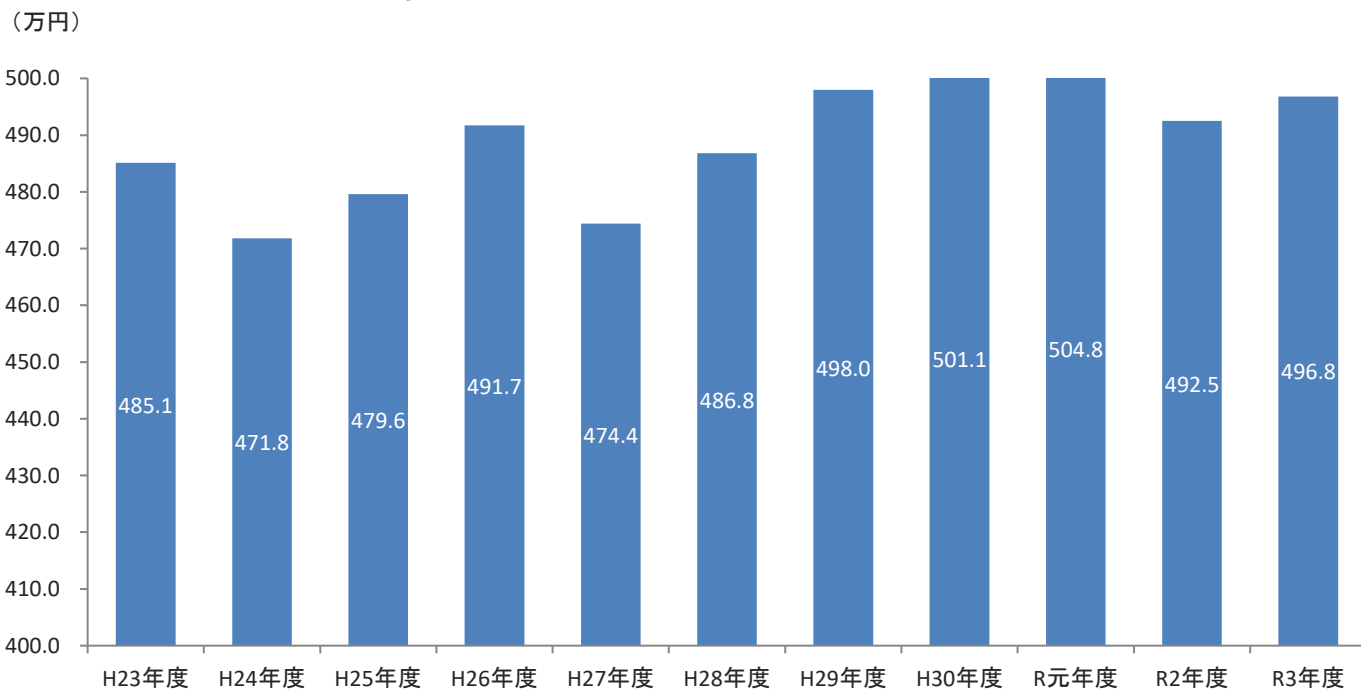
- 市民雇用者報酬及び市民雇用者数の推移 【図15】
 - ・ 令和 3 年度 市民雇用者報酬：3兆9,451億円（前年度+332億円）
 - ・ 令和 3 年度 市民雇用者数： 794,143人（前年度▲170人）
- 市民雇用者 1 人当たりの市民雇用者報酬の推移 【図16】
 - ・ 令和 3 年度 市民雇用者報酬： 497万円（前年度+4万3千円）

図15 市民雇用者報酬及び市民雇用者数の推移



資料：福岡市「福岡市民経済計算」

図16 市民雇用者 1 人当たりの市民雇用者報酬の推移

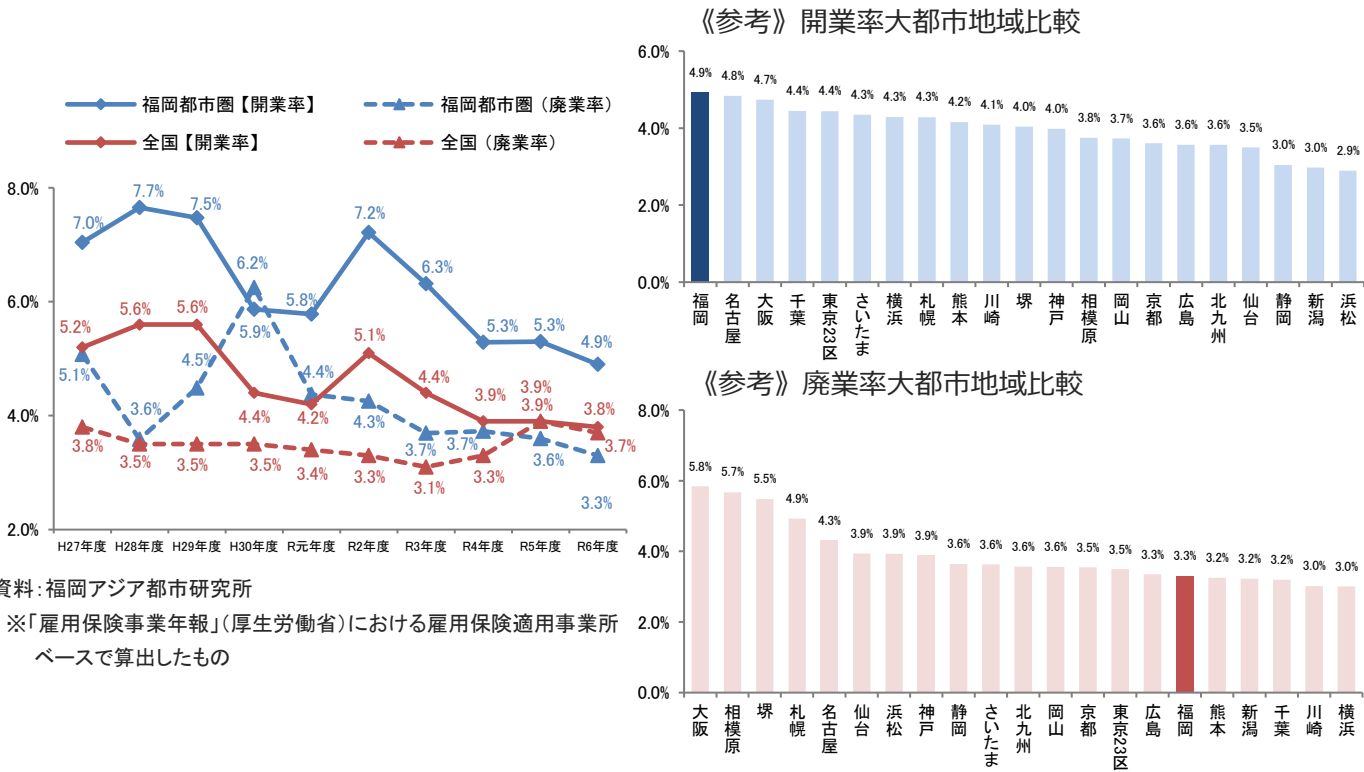


資料：福岡市「福岡市民経済計算」

(2) 開業率・廃業率

■福岡都市圏の開業率・廃業率 【図17】
・令和6年度 開業率：4.9%、廃業率：3.3%

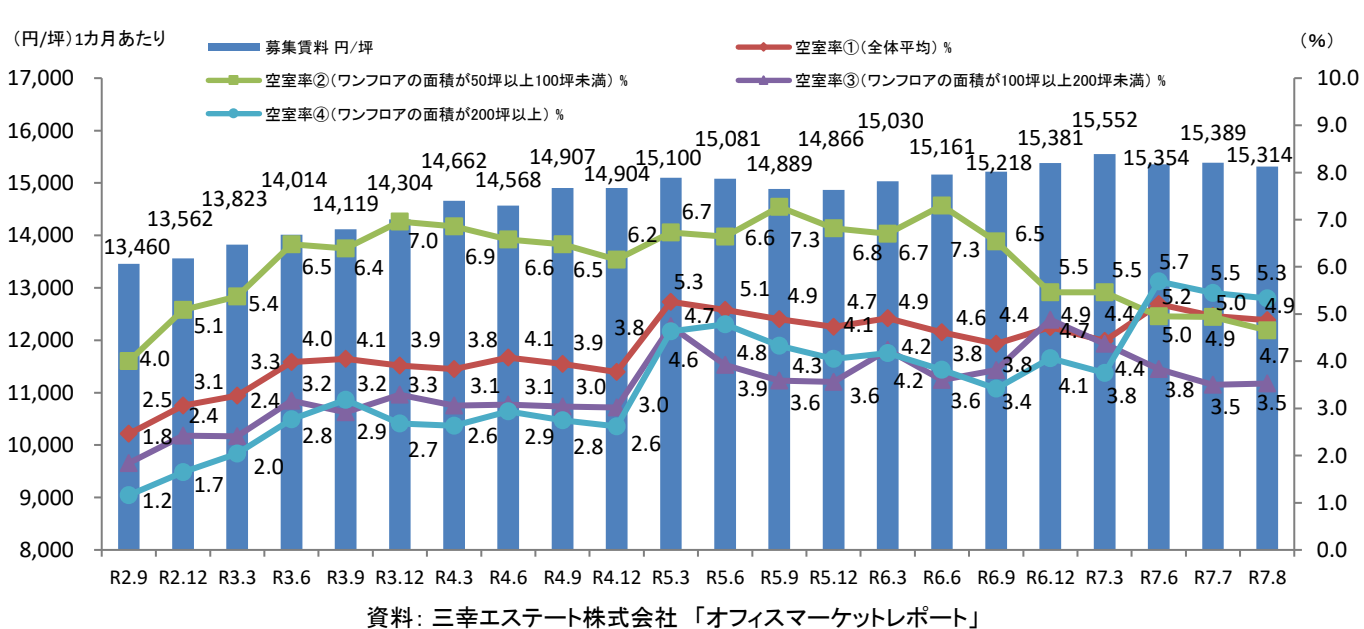
図17 福岡都市圏の開業率・廃業率の推移



(3) オフィス空室率

■オフィス空室率 【図18】
・令和7年8月 空室率 (全体平均) : 4.9%
・令和7年8月 募集賃料 (全体平均) : 15,314円/坪 (1か月あたり)

図18 福岡市内のオフィス空室率の推移



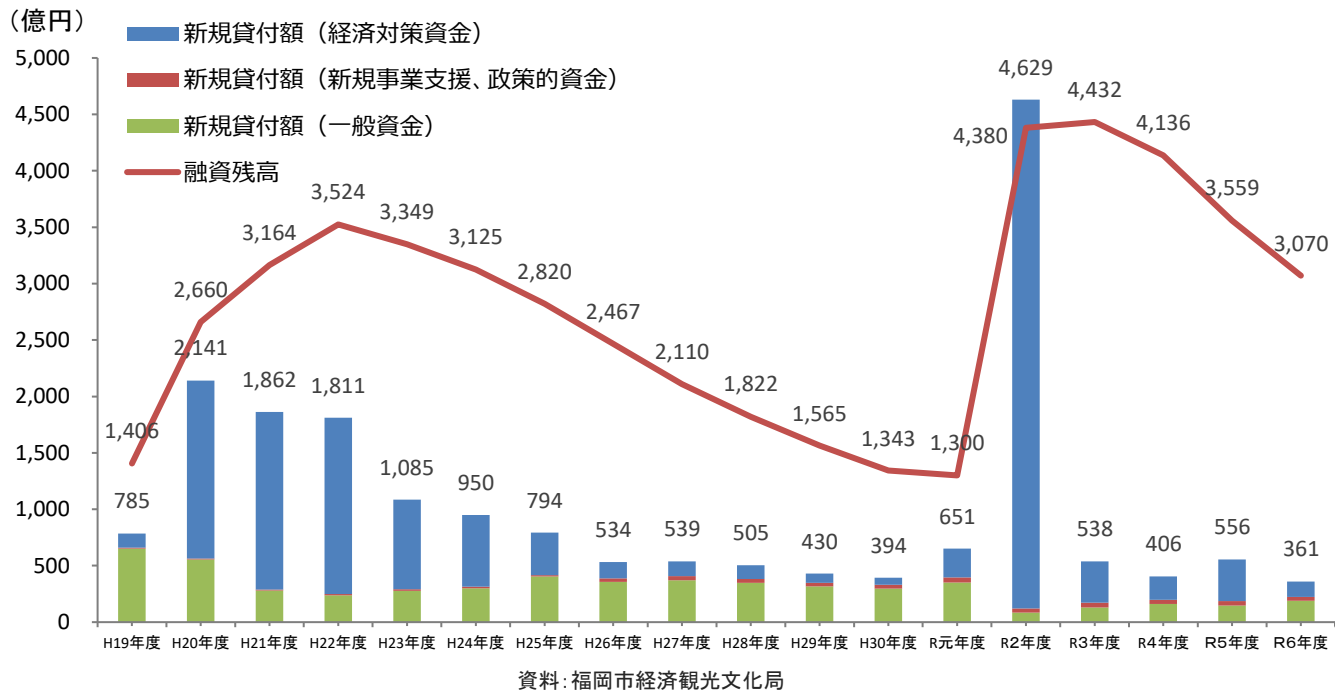
(4) 福岡市商工金融資金

■福岡市商工金融資金 【図19】

- ・令和6年度 新規貸付額：361億円（前年度 ▲195億円）
- ・令和6年度 融資残高：3,070億円（前年度 ▲489億円）

※令和2年度の新規貸付額・融資残高は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に増加した。

図19 福岡市商工金融資金 新規貸付額及び融資残高の推移

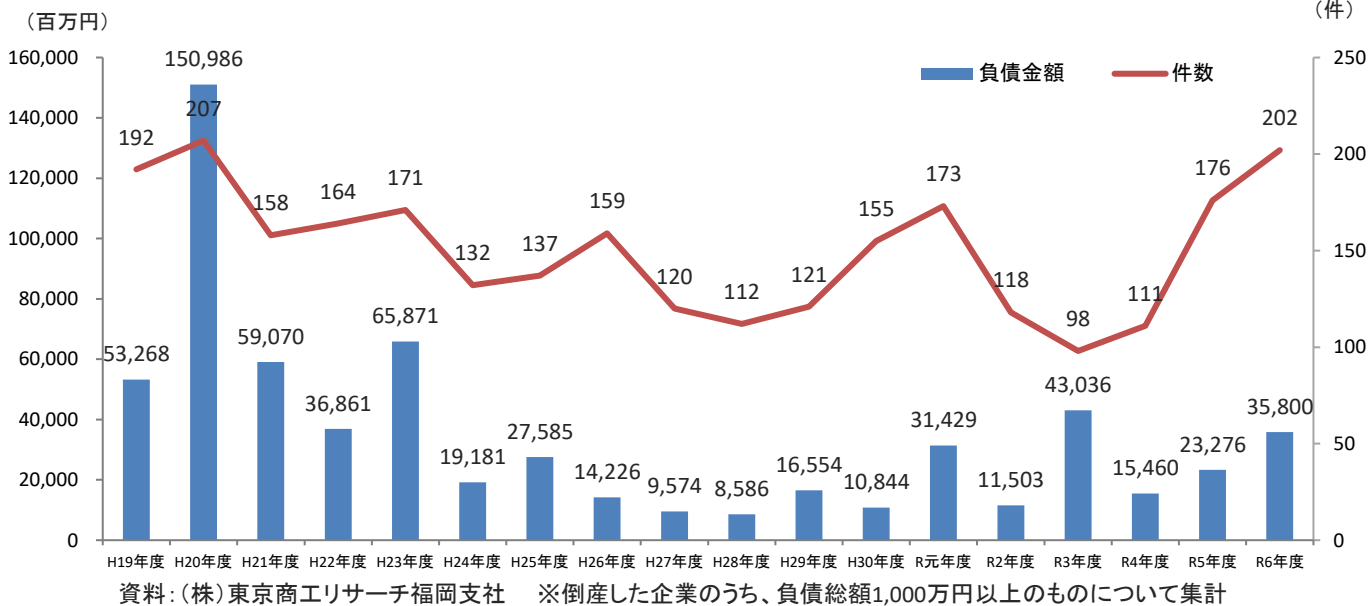


(5) 企業倒産

■福岡市内の倒産件数 【図20】

- ・令和6年度 倒産件数：202件（前年度+26件）
- ・令和6年度 倒産時の負債総額：358億円（前年度 約+約13億円）

図20 福岡市内の倒産件数の推移



(6) 貿易

- 博多港・福岡空港における貿易額【図21】
- ・令和6年 輸出額：4兆8,923億円（前年+4,108億円）

・令和6年 輸入額：2兆4,431億円（前年+1,310億円）
- 主な貿易相手国・地域【図22】
- ・輸出：中国（25.6%）、韓国（19.3%）、香港（12.7%）

・輸入：台湾（27.5%）、中国（23.8%）、ベトナム（6.8%）

図21 福岡市（博多港・福岡空港）における貿易額の推移

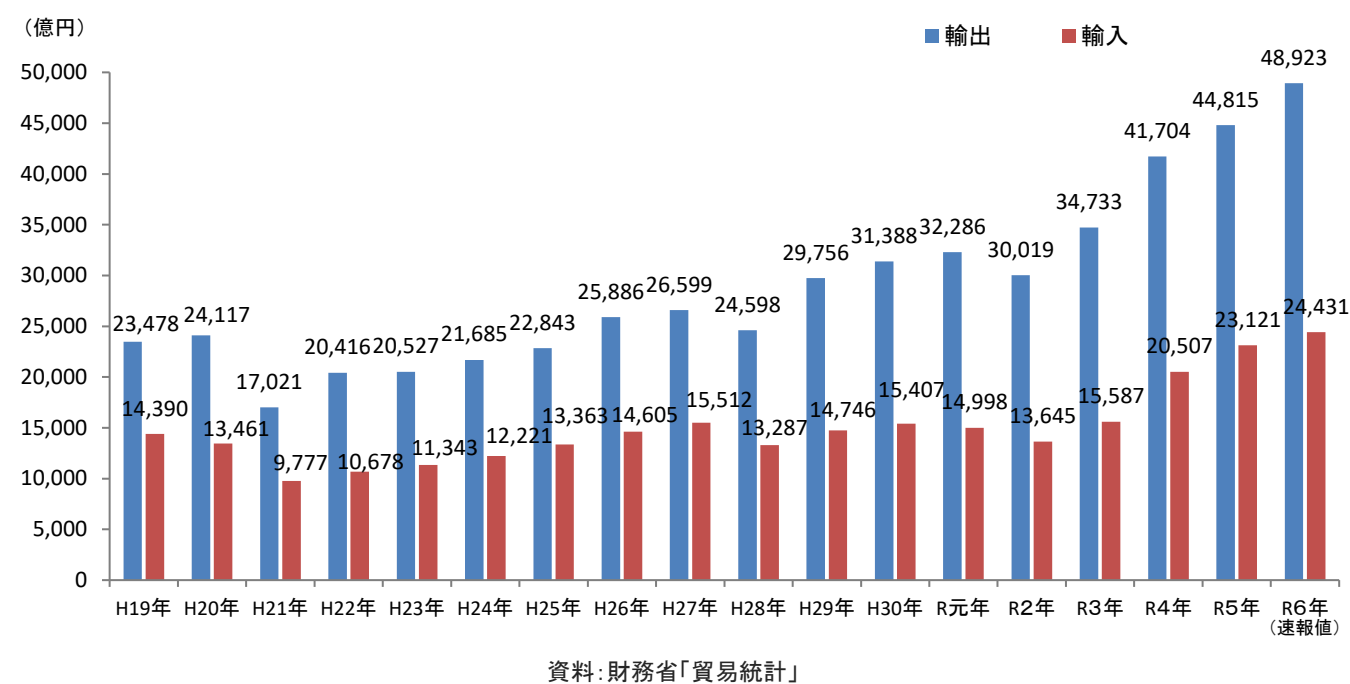
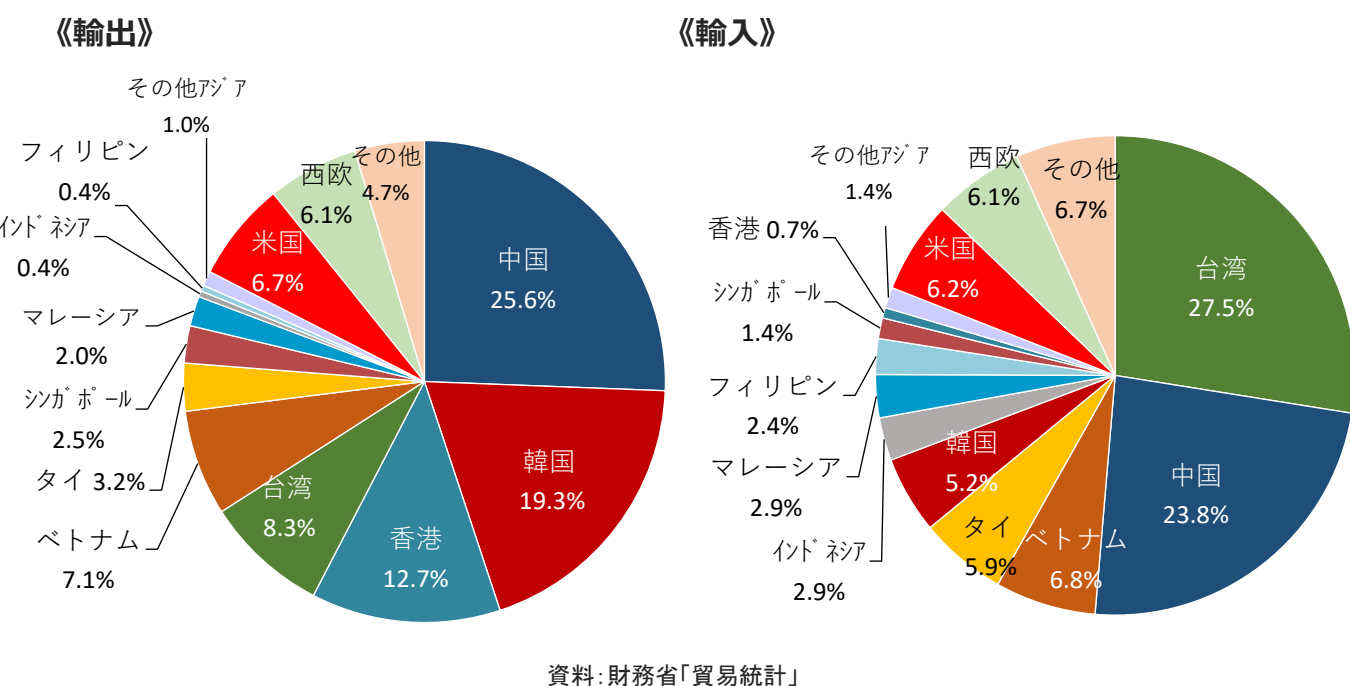


図22 福岡市（博多港・福岡空港）における貿易相手国・地域 令和6年（速報値）



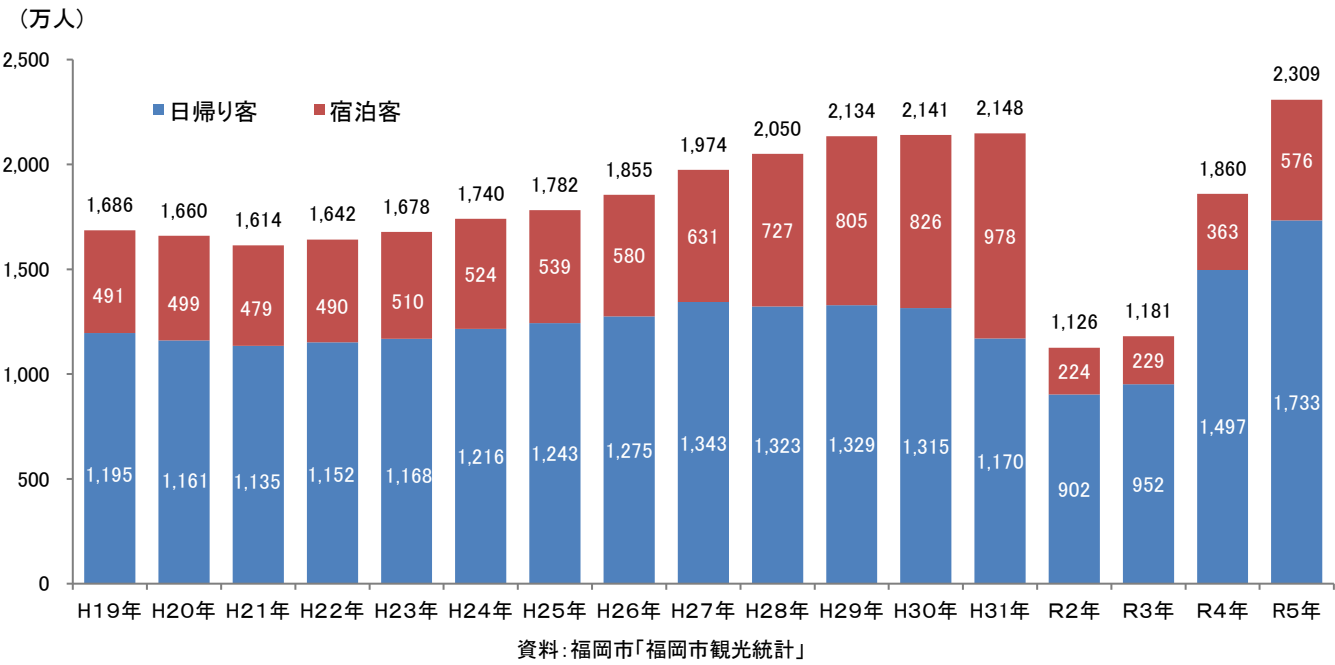
(7) 入込観光客数

■ 入込観光客数（推計）【図23】

・ 令和5年：2,309万人（前年 +449万人）

うち宿泊客：576万人（前年 +213万人）

図23 福岡市における入込観光客数の推移

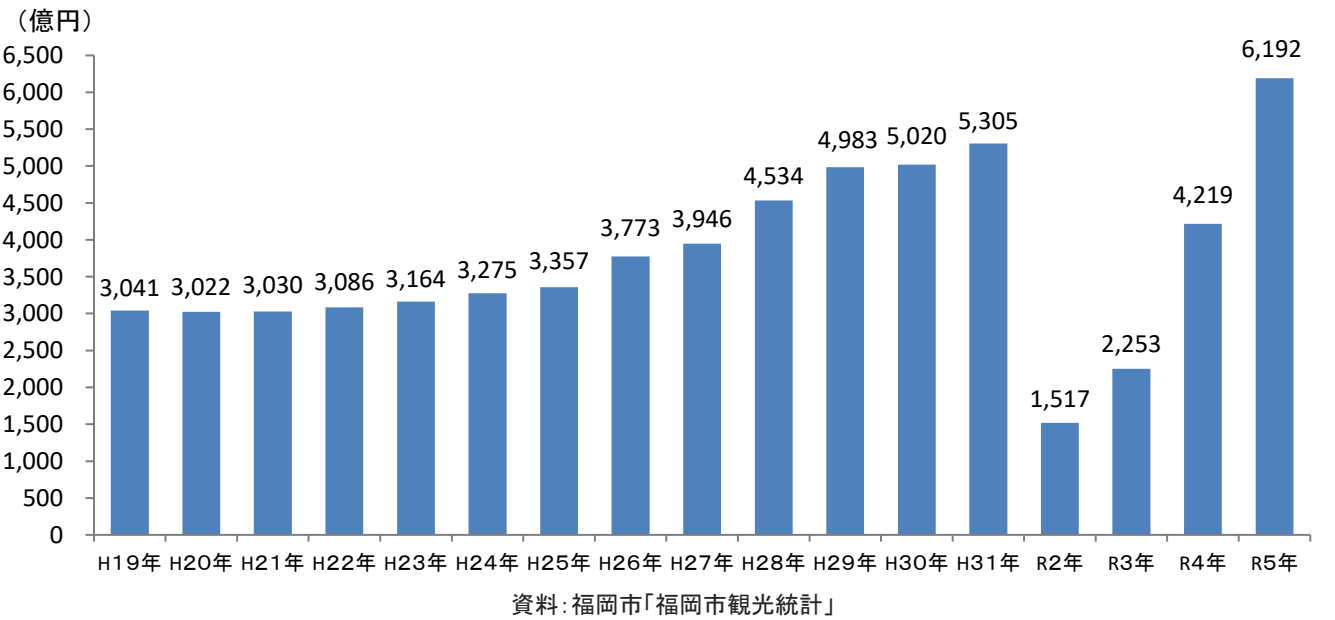


(8) 観光消費額

■ 福岡市内における観光消費額（推計）【図24】

・ 令和5年：6,192億円（前年+1,973億円）

図24 福岡市内における観光消費額の推移



(9) 外国人入国者数

- 博多港・福岡空港における外国人入国者数 【図25】
 - ・ 令和6年：3,899,909人（前年+ 110万5,388人）
- 入国者の国籍・地域別割合 【図26】
 - ・ アジアからの入国者が9割以上を占める

図25 福岡市（博多港・福岡空港）における外国人入国者数の推移

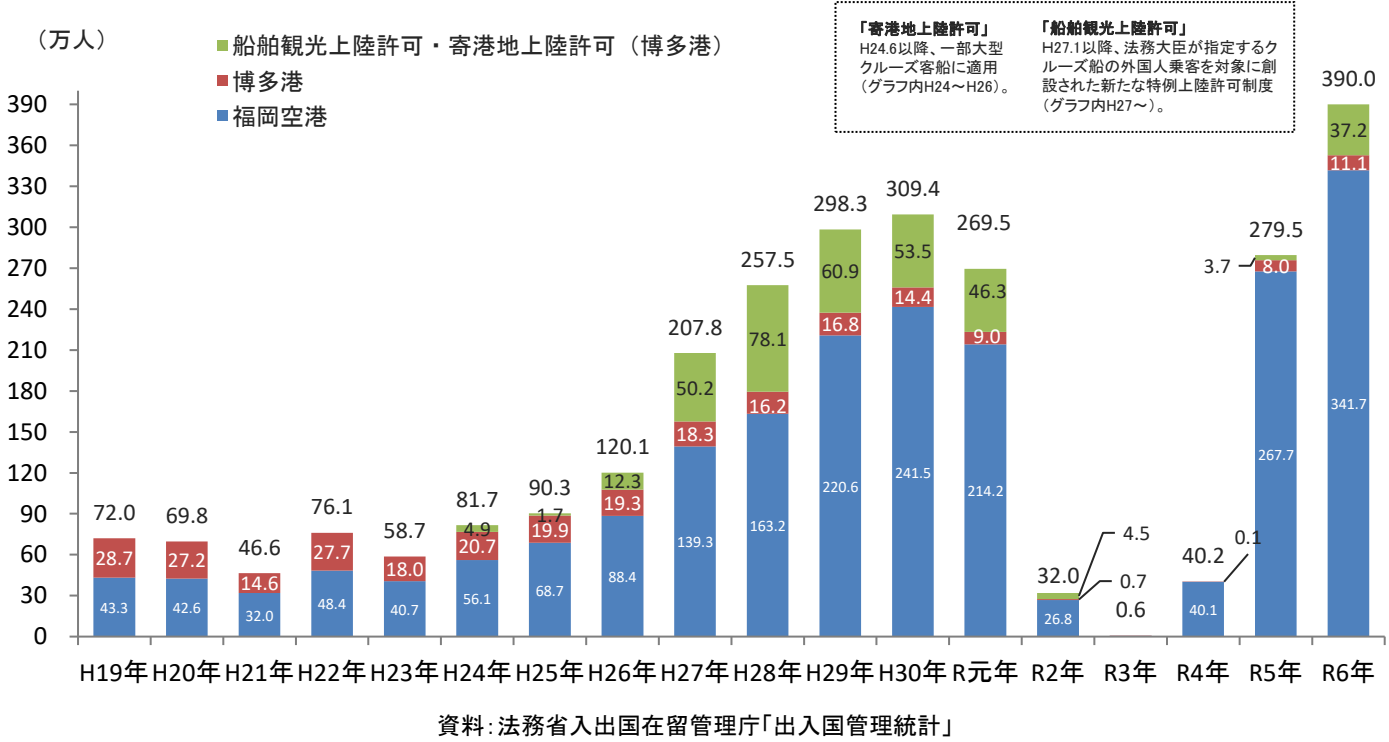
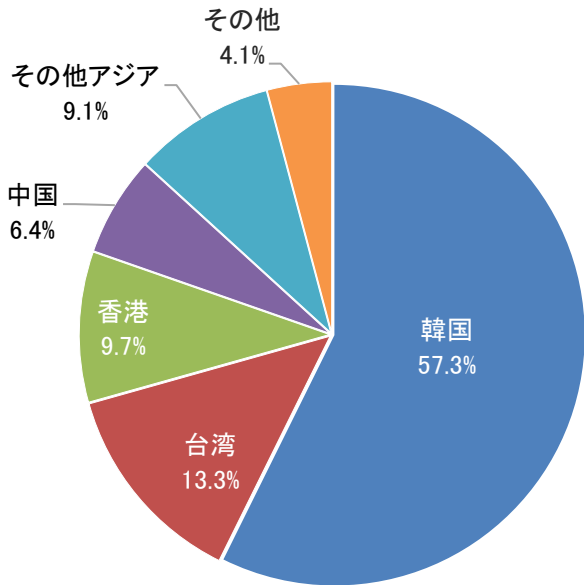


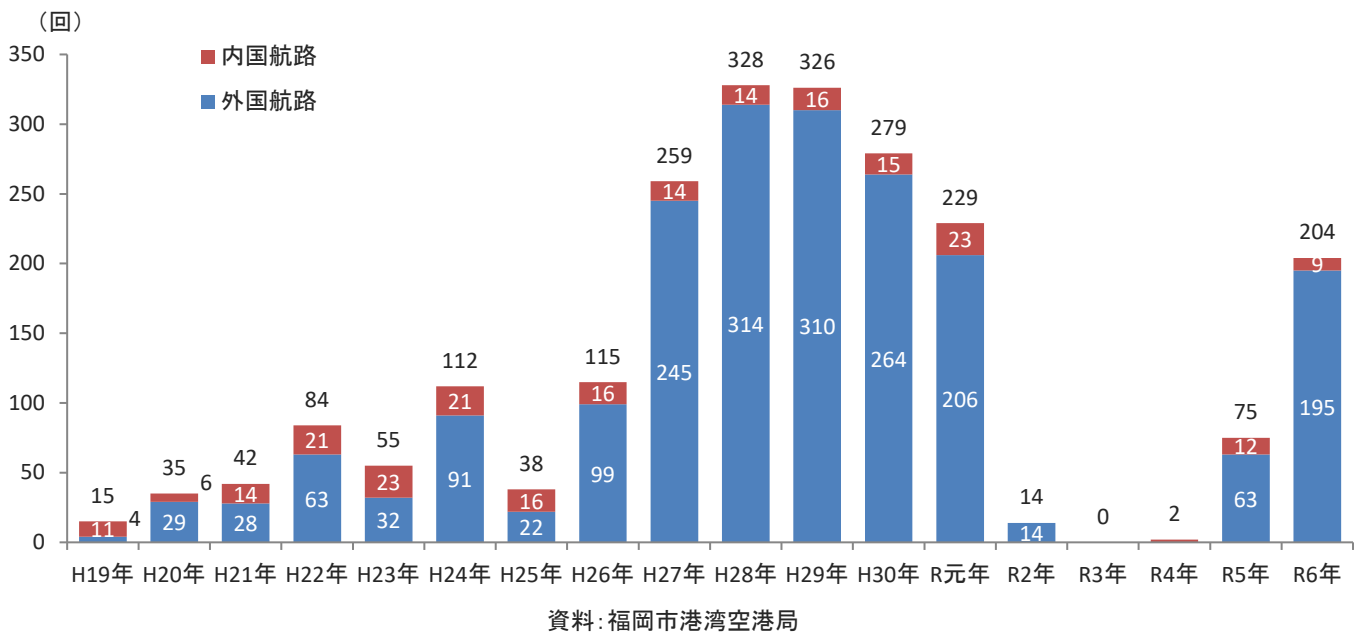
図26 福岡市における外国人入国者数の国籍・地域別割合 令和6年
《福岡空港・博多港》3,528,257人 ※船舶観光上陸許可を除く



(10) クルーズ船寄港回数

■博多港のクルーズ船寄港回数 【図27】
・令和6年：204回（前年+129回）

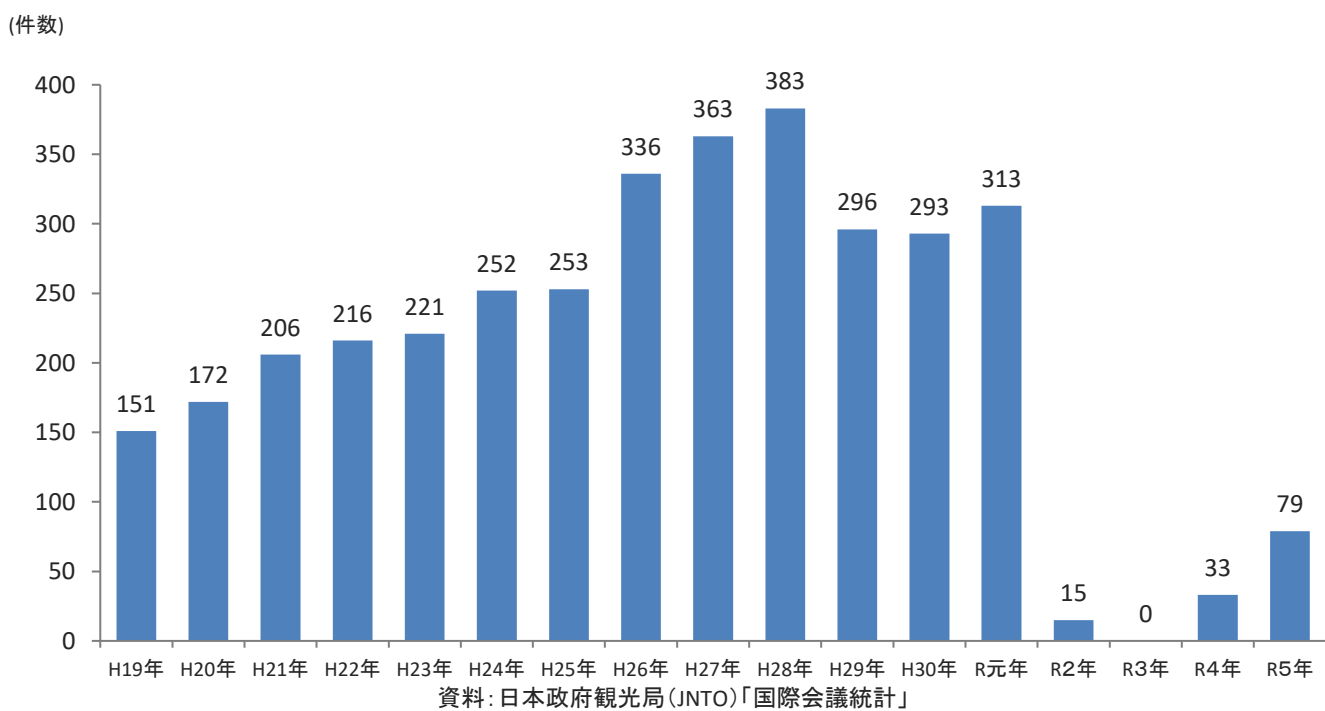
図27 博多港のクルーズ船寄港回数



(11) 国際会議開催件数

■国際会議開催件数 【図28】
・令和5年：79件（前年+46件）

図28 福岡市における国際会議開催件数の推移





アジアのリーダー都市へ

FUKUOKA

NEXT